

CASBEE® 広島

(2010年ver.1)

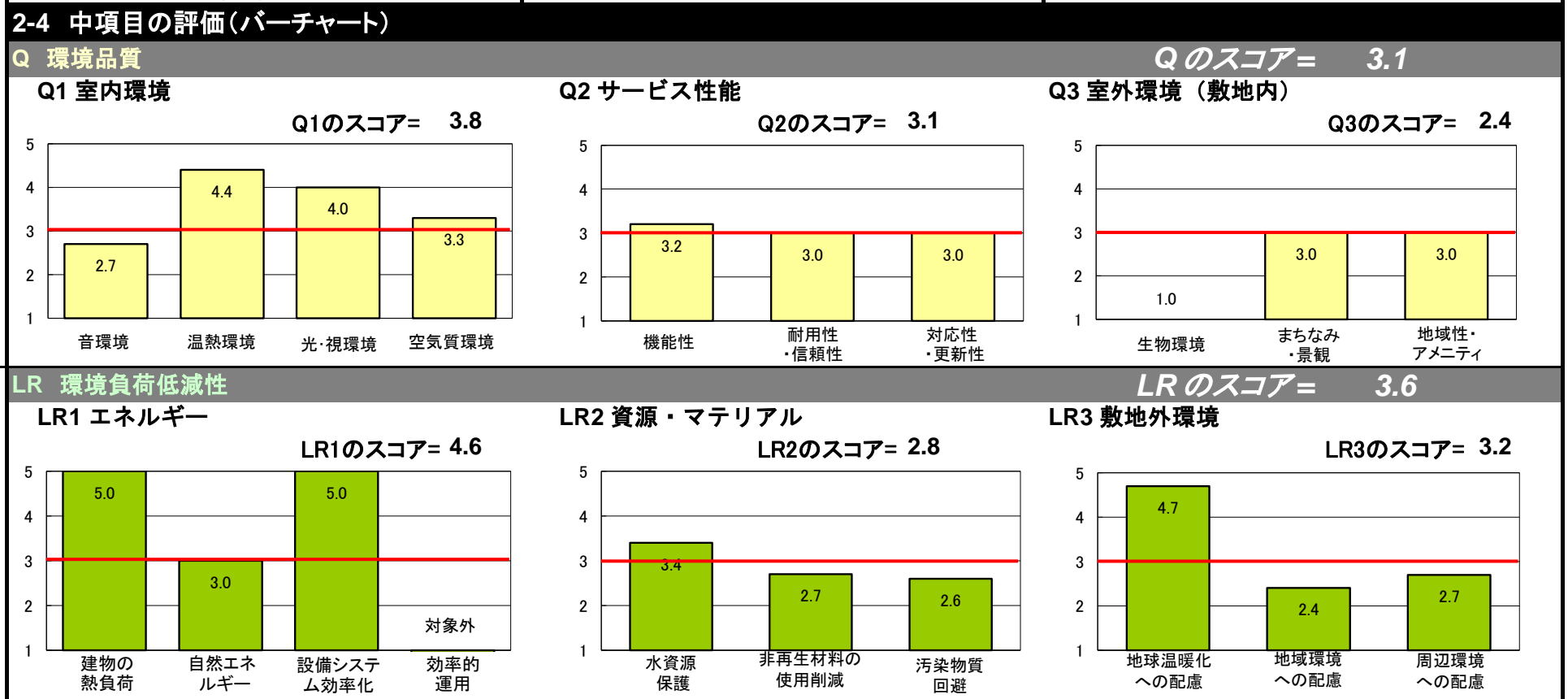
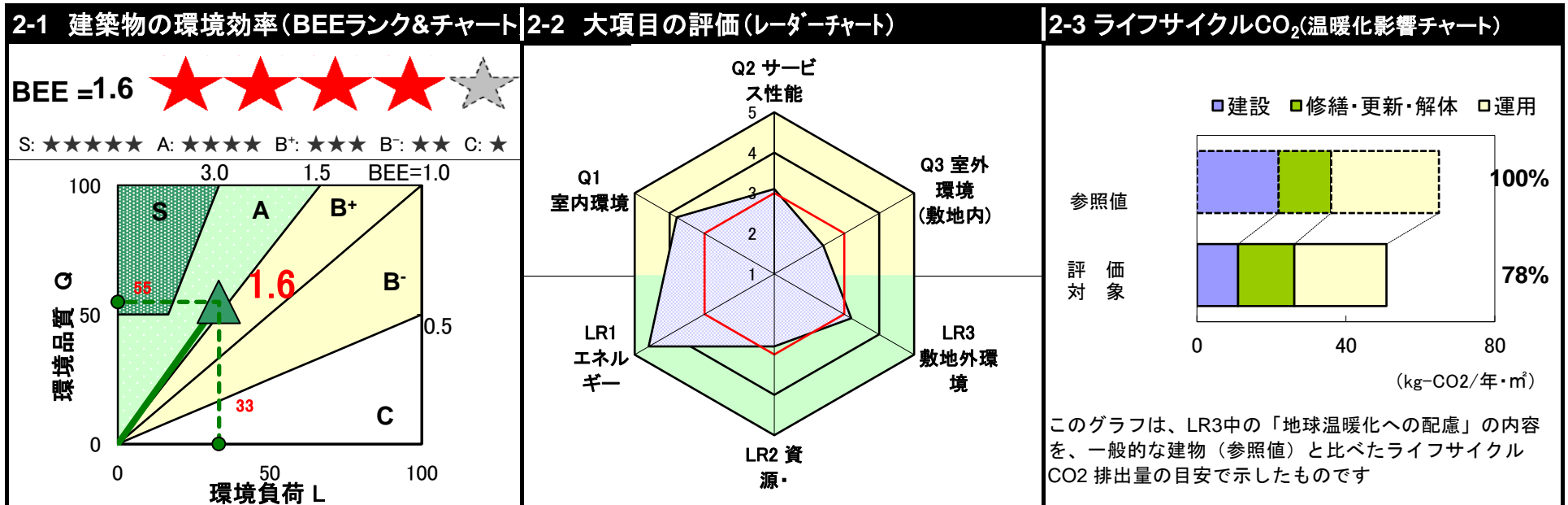
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サーパス段原	階数	地上15階
建設地	広島市南区段原山崎1丁目段原東部	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	140 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年1月 予定	評価の実施日	2012年6月18日
敷地面積	1,155 m ²	作成者	勝木慎一
建築面積	323 m ²	確認日	2012年7月17日
延床面積	3,889 m ²	確認者	勝木慎一

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.6

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 4.1	スコア = 1.8	スコア = 3.1
設計の計画上特段に配慮した事項 住宅性能評価における省エネルギー対策等級4等級(複層がス採用) / 全ての住戸で2面以上の採光・通風を確保 / 電気式自然冷媒CO ₂ 給湯器 / 深夜電力利用貯湯式採用 // 節水型便器、節湯器具を採用 / 躯体と仕上げが容易に分別可能 / 排出量参照値64.99に対し50.92	設計の計画上特段に配慮した事項 空地率70%以上 / 住戸数に対し駐車場100%、駐輪場200%	設計の計画上特段に配慮した事項 設計住宅性能評価における劣化対策等級2等級 / 外壁に耐用年数の高いタイルを採用 / 構造部材に損傷を与えずに更新を行うことが可能

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される